

もしだれかが、「なぜそんなことをするのか」と言ったら、『主がお入り用なのです。すぐに、またここにお返しします。』といいなさい。

マルコの福音書 11章3節

受難週に入りました。イースター前の最後の一週間を言います。この週の金曜日には、群衆が「イエスを十字架につけろ！」と叫ぶのですが・・・。

この日曜日は、戦いで勝利を収めた王を迎えるように、群衆がエルサレムに入つて来られたイエス・キリストを棕櫚の葉を持ち、その葉や自分の上着を道に敷き「ホサナ・ホサナ、祝福あれ・・・」と熱狂的に歓迎した日です。棕櫚の葉ということから、パ

ームサンデーともいわれます。イースターはクリスマスチャンにとつては、ある意味でクリスマスよりも重要で大切にされるべき祝祭日ですが、ウキウキと準備ができないのはこの受難週があるからでしょう。

イエス様が乗られた「誰も乗ったことのない子ろば」には特別な意味がありました。「誰も乗ったことのない子ろば」は神さまの聖なる御用に用いられるのです。「誰も乗ったことのない子ろば」をイエスさまが必

要としておられるのです。こんな子ろばに何ができるか。役に立たない、と人々が言ううと、世間の評価、世間的価値がどうであろうと主のご用に用いられるのです。

この箇所が教えていることは、みことばは必ず成就するということです。更に主はあらかじめ自分の計画のためにすべてを備えておられるということ。そして、イエスに信頼して命じられた通りに行動することです。

「主がお入り用なのです」というみことばは、いつの時代にあっても多くのクリスマスヤンの心に語りかけてきました。そして、その召しに応じた人々を通して主の働きはなされてきたのです。

【新型コロナウイルスについて】

1. 礼拝式に出席される方は事前のお申し込みをお願い致します。

・ 申込期限 原則、金曜日
・ 方 法 電話・FAX・メール

電話は朝10時～夕5時

※「土曜日になって出席の都合がついた」「連絡を忘れていた」など、急な場合は土曜日でも受け付けます。

2. 礼拝式出席の注意事項

・ 手指消毒、マスク着用、検温の実施。

・ 人との距離を保つ。

・ 会話は短く。握手、ハグ等の接触は避ける。

・ 指定場所に着席し間隔を確保。

・ 原則、長いす1台にひとり着席。但し、介助が必要な場合は二人で座れます。

・ 賛美、交読、信仰告白などの発声は大きな声を出さない。

・ 備品の聖書・聖歌は使用しない。

・ 出席カードは出さない。

3. 週報発送

・ 礼拝式に集まらない方には、これまで同様、郵送します。

